

# がまこり だより 議会

## 3月市議会定例会

一般質問…ここが論点	2～7
議決された主な議案	8～11
平成27年度一般会計予算 272億2,000万円	
議会日誌、5月臨時会予定	12

NO. 85  
2015.5



新岸壁完成！ / 三河港蒲郡ふ頭 11m 岸壁



# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、2日、3日、4日の3日間で、2人の議員が会派を代表して質問し、9人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、ユーーストリームライブ中継と録画放映も実施していますので蒲郡市議会のホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) からご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
3月2日(月)	蒲郡自由クラブ 代表 伴 捷 文	予算大綱について <a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">安心してお産・子育てのできる町づくり</a> <a href="#">働く場の確保・産業の振興</a> <a href="#">病院の安定経営・住みやすい町づくり</a> モーターボート競走事業
	公明党蒲郡市議団 代表 大 竹 利 信	予算大綱について <a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">安心してお産・子育てのできる町づくり</a> <a href="#">働く場の確保・産業の振興</a> <a href="#">病院の安定経営・住みやすい町づくり</a>

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
3月2日(月)	日恵野 佳 代	予算大綱について <a href="#">市内経済の活性化</a> <a href="#">年をとっても安心して暮らせるまちづくり</a> <a href="#">子育て世帯を応援するまちづくり</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">選挙投票所</a> <a href="#">ボートレース蒲郡</a> <a href="#">農林水産まつり</a>
3月3日(火)	柴 田 安 彦	予算大綱について <a href="#">堅実な行財政運営</a> <a href="#">産業振興</a> <a href="#">病院の安定経営と住みやすい町づくり</a> 新年度予算の評価
	青 山 義 明	<a href="#">企業誘致</a> <a href="#">フルマラソン大会開催</a>
	稲 吉 郭 哲	<a href="#">病院事業の経営改善</a>
	大 場 康 議	<a href="#">幹線道路整備</a> <a href="#">定住促進</a> 公共交通
3月4日(水)	鈴 木 貴 晶	<a href="#">蒲郡の“MIRAI”</a>
	松 本 昌 成	<a href="#">地方創生</a> 地方公会計 <a href="#">学校図書館運営支援</a>
	竹 内 滋 泰	<a href="#">一般廃棄物処理</a> <a href="#">空き家等適正管理条例</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

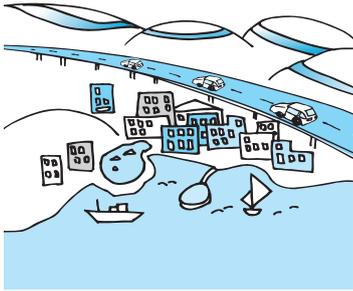
蒲郡自由クラブ  
代表 伴 捷 文

市債残高10%削減状況  
について

**問** 市債残高10%削減を市長は公約として掲げてきたが、現在どういう状況になっているのか。

**答** 市債残高の10%の削減は、将来の子供たちに負担を先送りしないように、平成22年度末を起点に平成26年度末までを目標に進めてきた。

その結果、臨時財政対策債を除いた残高と比較すると、4年間で約47億4500万円の減、率にして11.67%の削減となり、目標を達成できる見込みである。



今後事業の推進に当たり、本当に必要となる市債の活用を図りながら、発行額をコントロールしたいと考えている。

里帰り出産できる  
体制づくりは

**問** 里帰り出産も市長の公約として掲げている重要な施策だが、現況はどのようか。

**答** 産科の常勤医師が退職したこと、分娩を一部制限している。

現在は、土曜日から日曜にかけて当直をやっていただけの医師を大学から派遣してもらっているが、常勤医を確保しなければ根本的な解決にはならない。大学の医局だけでなく医師紹介会社も含めて産婦人科の常勤医を探し、里帰り出産が可能な体制づくりに努力していく。

学校給食の民間委託  
について

**問** 学校給食の調理業務を民間委託するメリット

は何か。

**答** 退職による正規調理員の減少のため、4月から学校給食の調理及び配膳業務を民間委託することになった。

委託業者の管理栄養士の採用により、現在いる栄養教諭が学校での食育指導等に力を入れられること、また、学校給食調理の経験豊富な民間業者が衛生管理などの知識をいかして、より安全で安心できる学校給食を提供できることが民間委託のメリットである。

そして、アレルギー対応食の調理経験もあり、より安全な給食が提供できる体制をつくっていききたいと考えている。

**問** 今の学校給食は米飯が多いと思うが、今後も継続していくのか。

**答** 米飯給食は、昭和52年5月から開始しており、現在、ほとんど米飯で月に1、2回程度パン又は麺を提供している。委託にもって米飯中心に和風献立を基本として、栄養バランスのとれた給食づくりに取り組んでいきたいと考えてい

る。

ラグーナ蒲郡地区まち  
づくり協議会について

**問** 蒲郡海洋開発株式会社が解散し、ラグーナ蒲郡地区の新しいまちづくりを協議会で進めていくと聞いているが、どのような形で進めていくのか。

**答** 平成27年1月に蒲郡海洋開発株式会社の解散に伴い、地区全体のマネジメントや調整機能を有する機関がなくなり、まちづくりの円滑な推進のため、その役割を担う組織が必要と



新たなまちづくりが進められるラグーナ蒲郡地区

考え、ラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会を発足させた。

現状は、蒲郡市、愛知県、愛知県企業庁、トヨタ自動車株式会社、株式会社ラグーナマリーナの5者が参加し、ラグーナ蒲郡地区の未利用地をいかした新たな、まちづくり構想について、さらなる検討や上下水道、道路などのインフラ整備、景観への配慮、防災対策などを課題に考えていきたいと思

市の産業振興策は

**問** 市はこれからの産業経済の振興について、どのようなスタンスで臨んでいくのか。

**答** 市の産業振興施策としては、これまでと同様に商工業及び観光の各分野にバランスよく、時代に合った支援を行い、地域産業の活性化を図りたいと思っ

その中でも、特に国や県が重点項目として掲げる施

策は、市としても対応可能な範囲でニーズに即した補助や支援を行っていききたいと考えている。

### 地域包括ケア病棟について

**問** 市民病院の経営の中で、改善策の一つに地域包括ケア病棟の配置があるが、内容について伺う。

**答** 国は、団塊の世代が75歳以上になる平成37年をめぐりに、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進している。



医療でも、急性期後の患者の受け入れを初めとする地域包括ケアシステムを支える病棟の充実が求められることから、当院では4月1日から7階西病棟を地域包括ケア病棟として運用することになった。

これは退院後すぐに在宅や施設へ移るには不安のある患者さんに、しばらくの間入院医療を継続し、在宅復帰に向けた医学管理、看護、リハビリを行いながら、退院準備を整え、安心して自宅等に戻っていただくためのものである。

### 市内の公共交通について

**問** 形原地区の支線バス運行事業の現況について伺う。

**答** この事業は、形原地区公共交通協議会の取り組みで、地元主導でルートやダイヤなど運行計画を検討し、協議が進められ、4月2日から支線バス運行を開始する。

今後は、平成28年度までの2年間を試験運行期間、



あじさいくるりんバス出発!

3年目を見直し年度として運行に関する評価改善のための指標、ルート等を策定し、事業の継続的な確保維持を行っていく。

**問** この支線バスの運行実績で極端に利用率が低い場合、どのような判断をするのか。

**答** 試験運行の結果、利用率が少ない状況であれば、積極的に啓発し、できるだけ利用していただきたいと思っているが、それでも、非常に少なく事業効率が悪い場合は、平成29年度の見直しで検討したいと思う。

**問** 利用者の少ない路線バスの見直しをどのように考えているのか。

**答** 昨年5月に地域バス協議会を設置し、協議を重ねてきた。

その結果、蒲郡駅を出発して市民病院を経由し蒲郡駅に戻るルートで、左回りの一部を右回りに変更し、利便性の向上を図ること。水竹町や宮成町の商業施設に行きやすい路線バスのルートに変更すること。

大塚地区や三谷地区などから市民病院まで乗り入れる便を、平日は行きに4便、帰りは3便として、利便性の向上を図ることなど改善策がまとまった。

### 市民体育センターの建てかえについて

**問** 市の公共施設の老朽化が進む中、市民体育センターの建てかえを検討しなければならぬ理由は何か。

**答** 公共施設の見直しは、検討委員会ですべて的に検討しているが、体育センター、市民会館、図書館の3施設は検討委員会とは別に、新築か耐震改修するか方向性を出すため、耐震診

断を行った。

その結果、体育センター競技場の耐震性能が著しく低いことが判明し、建てかえが必要と判断した。

**問** 体育センターの建てかえは、場所や建築手法、複合施設とのかかわりなど、計画をどのように考えていくのか。

**答** 建築の手法は、多額の費用が必要なため、事業費の捻出を考えるとPFIの手法なども検討したいと考えている。

建築場所は、現在の場所での建てかえは取り壊しから新築まで3年ほどかかり、その間、施設は使用できなくなり、利用者への影響が



建てかえを検討する市民体育センター



民間委託を導入する学校給食センター

大きいと考えている。また、武道館を残すので駐車場の確保にも支障をきたすことから、別の場所に建設することが最良であると判断している。

公明党蒲郡市議団  
代表 大竹利信

給食調理業務等の  
民間委託について

**問** 民間委託後のアレルギー対応への取り組みは、現在行っている献立表による栄養指導を原則に給食センターの施設改善、

調理、配缶、配膳の方法等を検討し安全なアレルギー対応食の提供を行う体制をつくりたい。

合併処理浄化槽の  
補助金復活を

**問** 地震や災害対策のため、市内全域での合併浄化槽の普及、向上に補助金を復活させてはどうか。

**答** これまでに自助努力で転換した方、敷地の問題で設置できない方などの数々の問題や県全域汚水適正処理構想を勘案し検討したい。

がん検診受診率  
向上にむけて

**問** 受診率向上のための新たな取り組みは、

**答** 「働く世代の女性支援のためのがん検診未受診者対策緊急支援事業」を実施する。27年度から受診票をブック式に変更し、また検診の自己負担金を窓口で支払えるように考慮していきたい。結果表も、受診医療機関で直接説明しながら

ら渡すように改善したい。

介護ボランティアポイント  
制度の導入について

**問** 制度を導入する考えはあるのか。

**答** 社会福祉協議会やシルバー人材センター及び新たな団体の育成を調整し27年度内での導入に向け努力したい。

**問** 介護ボランティア活動で取得したポイントの活用はどう考えるか。

**答** 獲得ポイントに応じて一定の上限額を定め、現金あるいは商品券への交換を考えている。ポイント



を活用することでボランティア活動への参加のきっかけになればと考える。

日恵野佳代 (無党派・日本共産党)

住宅リフォーム助成事業  
再開を

**問** 4年前の住宅リフォーム助成事業では7千万円の予算に対して14・5倍の経済効果が市内であった。事業再開に地方創生予算を充当する考えはあるのか。

**答** 市民の住生活環境の向上、地域経済の活性化及び雇用の安定化に寄与していたが、再開については国県の助成金制度の動向や社会情勢を踏まえ検討したい。

介護保険料、利用料の  
負担増について

**問** 介護保険事業計画策定のためのアンケートに「経済支援が必要」とあったが、なぜ計画に軽減策が盛り込まれていないのか。  
**答** 第1段階の保険料が国の基準額より低くなる

というものはあるが、市独自の軽減策について、十分なものには計画に盛り込まれていない。

尾崎広道 (自由クラブ)

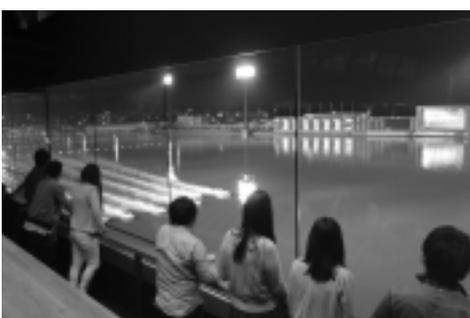
投票所のあり方について

**問** 期日前投票所を増やすことができないか。

**答** 本市の規模では現在の1か所が適正の範囲であり、増やす予定はない。

新スタンドオープン後の  
ボートレース蒲郡

**問** 新規顧客の開拓についてどう考えているか。



新たなファン層の開拓を図るボートレース蒲郡

**答** 本場の売り上げ向上のために新規顧客の開拓が必要なことは重々承知している。初心者教室、ピット見学、バスツアーなどを通じ、初心者や女性にもポーターレースを楽しんでもらえるように努めていく。

### 市の魚の制定を

**問** 市の魚の制定を検討してみてもどうか。

**答** 今後、市民の機運が盛り上がったなら、検討していきたい。

### 柴田安彦（無党派）

### 市民病院の位置づけと安定経営について

**問** 地域包括ケア病棟を導入するが、市民病院の二次医療機関としての位置づけに変化が生じないか。

**答** 急性期の治療から在宅等への復帰を支援するために地域包括ケア病棟の運用を開始するが、救急医療や急性期の入院を中心とした二次医療機関としての



地域の中核病院として最善の医療を提供する市民病院

役割を今後も果たしていきたいと考えている。

**問** 国は医療費抑制を考えているが、診療報酬の引き下げが心配ではないか。

**答** 施設基準の厳格化などによる診療報酬の引き下げがないとは言いきれない状況であり、改定の際には様々な選択肢を検討し、最善策を実施したい。

**問** 地域包括ケア病棟の導入は医師に対する魅力の低下につながるのか。

**答** 地域の中核病院として最善の医療を提供し、研修医等が招聘できる魅力ある病院づくりに邁進する。

### 青山義明（自由クラブ）

フットワーク良く、スピード感ある企業誘致を

**問** 柏原町堀切地区での企業用地開発の現況は。

**答** 道路計画の調整がほぼまとまり、県の企業庁からは農振農用地除外について確認を要求されている。市街化調整区域での立地規制緩和策は。

**問** 国道23号バイパスI.C周辺及び247号中央バイパス沿道の市長が認めた区域では1haから立地可能とし、また、医薬品など



企業立地推進課が作成した「企業用地のご案内」

の技術先端型業種、輸送機械などの指定集積業種であれば、立地可能とする。

**問** フルマラソン大会開催について

**答** 現在の進捗状況はどのようなか。

**問** 中日新聞社と県に今後の検討への参加をお願いし、了承を得た。大会開催に向けての可能性について、事務レベルでの調査研究を進めていく。

### 稲吉郭哲（自由クラブ）

病院事業の経営改善について

**問** 地方公営企業法全部適用を実施する可能性は。

**答** 全部適用の実施は、職員採用や組織の設置を事業管理者権限で迅速に行え、経営の自由度が高まり、職員の意識改革につながる。医療制度が目まぐるしく変動するなかで、市民病院の経営基盤を強固にし、生き残っていくために、全部適用実施の可能性を本格的に

模索していきたい。

**問** 仮に全部適用実施となった場合にも、人間ドック事業を市民病院が行うことを考えているか。

**答** 中期経営計画において、市民の健康増進と医療収益の確保という観点から、市と医師会の協議次第ではあるが、市民病院が人間ドック事業の受け皿になることを視野に入れている。全部適用が実施されれば、人事に関する権限が付与され、必要なスタッフの確保が迅速に図られると考えている。

### 大場康議（自由クラブ）

蒲郡環状線の進捗は

**問** 都市計画道路蒲郡環状線の状況と完了予定時期について伺う。

**答** 現在は中部土地画整理地内、神ノ郷地区、清田・五井地区を進めており、27年度は西田川東側の用地測量等を予定している。計画上の完了時期は平成30年だが地権者の理解をいたさき、更に早期に進めたい。

定住促進のための施策は

**問** 本市には厳しい用途制限である第1種低層住居専用地域が2か所あるが現況と暫定用途解除の考えについて伺う。

**答** 形原町堤下地区では25年4月に5haを区画整理により解除できている。豊岡町上前田地区では9haのままである。豊岡地区では26年度中に説明会を開催し地権者の意向を確認し暫定用途解除の判断をしたい。

鈴木貴晶（自由クラブ）

命の道確保のための無電柱化の取り組みを

**問** 無電柱化には良好な景観形成、通行区間の安全性・快適性、道路の防災性とメリットが多くあると感じるが市の考えはどうか。

**答** 現在、国において第3期無電柱化の方針が検討されている。まだ詳細は決まっていないが、現状のままだと費用負担が過大な



無電柱化を実施した県道蒲郡港線

燃料電池車の公用車としての導入は

ので、国の制度の見直しや技術開発等でコスト削減できれば検討していきたい。

**問** 水素社会の実現に向け、本市でも燃料電池車を購入してはどうか。

**答** 燃料電池車を公用車として活用すれば自然との共生を標榜する本市としても貢献ができると考えている。今後、水素ステーションの整備状況、公用車の買い替えの時期等を見据えて検討したい。

松本昌成（公明党）

地方版総合戦略策定の方向性は

**問** 国が26年末に地域活性化を目指す長期ビジョンと総合戦略を決定したが、本市での策定にむけた推進体制の考えを伺う。

**答** 本市でも27年度中に人口ビジョン及び総合戦略を策定する予定である。総合戦略の策定にあたっては産業界、大学、行政機関等幅広い分野で構成する会議体を組織し進めたい。



学校図書館運営の充実を

**問** 27年度から始まる学校図書館運営支援事業の内容と今後の課題を伺う。

**答** 司書の資格を持つ5人の支援員が各学校に週1回訪問する予定を組み、学校図書館の運営の活性化を図っていく。学校図書館の授業への活用が課題であり、今後は学校図書館の学習情報センターとしての機能を充実させていきたい。

竹内滋泰（自由クラブ）

資源物の持ち去り防止策を

**問** 平成25年4月より資源ステーションから資源物持ち去り禁止の条例を施行したが、効果はどうか。

**答** 資源物持ち去り被害の主な対象は鉄くずだが、26年度の収集量は施行前と比べ28%増加し、売却収入としても効果が出ている。早期パトロールの効果について伺う。



資源ステーション

空き家等適正管理条例制定後の運用は

**問** 廃屋に近い緊急性の高い物件の対応はどうか。

**答** 所有者による対応が原則だが、やむを得ない場合は緊急安全措置等を実施し市民の安全確保をする。

**問** 廃屋に近い緊急性の高い物件の対応はどうか。

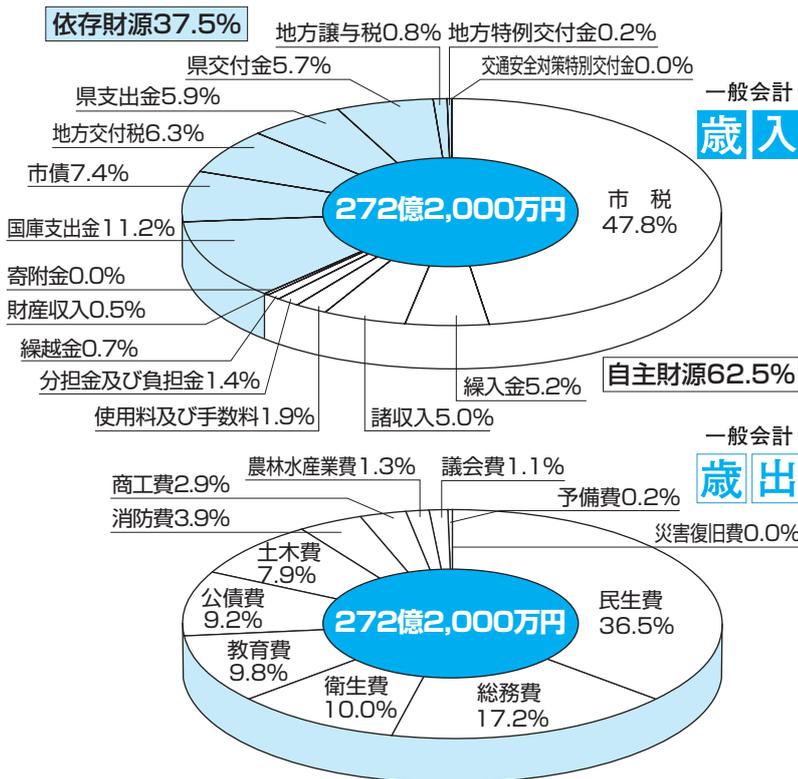
**答** 所有者による対応が原則だが、やむを得ない場合は緊急安全措置等を実施し市民の安全確保をする。

# 平成27年度一般会計予算 などを議決

3月定例会  
議案

3月市議会定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で開き、議案38件を審議しました。

平成27年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



## 平成27年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	272億2,000	4.9%増
特別会計	国民健康保険事業	96億5,870 13.0%増
	介護保険事業	58億9,210 4.1%増
	後期高齢者医療事業	17億190 0.5%減
	土地区画整理事業	15億8,370 9.9%減
	公共用地対策事業	1億950 35.7%増
	下水道事業	25億2,270 19.4%増
	三谷町財産区	3,360 21.3%増
	西浦町財産区	1,400 15.7%増
	小計	215億1,620 8.1%増
	企業会計	水道事業
資本的 11億3,080 11.5%減		
病院事業		収益的 79億2,230 14.7%減
		資本的 8億6,520 2.2%減
モーターボート競走事業		収益的 845億3,680 31.8%増
		資本的 17億2,210 3.2%減
小計	978億9,050 23.7%増	
合計	1,466億2,670 17.3%増	

### 予算審査 特別委員会から

平成27年度一般会計予算など12会計予算は、18人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長 広中昇平、副委員長 尾崎広道）を設置し、審査されました。審査は、3月11日から13日及び16日の4日間にわたり、慎重に行われました。

○ 一般会計予算

### 総務費

### 外国人対応事業

問 市民課窓口にて外国語の通訳ができる非常勤職員を

配置することのだが、どのような言語への対応を想定しているのか。

答 窓口に来られることの多いスペイン語、ポルトガル語等を話す方に対応できる職員の配置を中心に考えている。

問 市役所庁舎1階ロビーに設置するWi-Fiフリースポットのマークに国が示した統一デザインを採用してはどうか。

答 関係各課で検討していきたい。

### 民生費

### 成年後見制度利用支援事業

問 成年後見センターの今後の課題は。

答 認知症や精神障害、知的障害など様々な理由により相談を受けることから、ニーズを的確に捉え、相談者の理解を得ながら成年後見制度の利用の支援を行うことが課題である。

### 衛生費

### エコモビリティライフ推進

問 事業内容について伺う。また、対象者の要件に免許証を有する方とあるのはな



## その他の議案

### ●副市長の選任 (第33号議案)

副市長鈴木良一氏が平成27年3月31日に辞任することに伴い、井澤勝明氏を副市長に選任することに同意しました。

### ●蒲郡市議会憲章の制定 (議員提出第2号議案)

平成24年10月15日に積極的な議会改革への取り組みとして議会基本条例制定等

の研究や検討を行うことを目的に、第1回目の議会基本条例・憲章等検討協議会を開催しました。それ以降協議を続け、平成26年7月28日に蒲郡市議会は二元代表制の一翼を担う市民の代表機関であり、合議機関として市民に信頼される議会を目指すため、蒲郡市議会憲章を作成しました。その後、議会運営委員会理事会后、議会報告があり、3月定例会において議員提案され、議決されました。憲章の内容については左のとおりです。

## 蒲郡市議会憲章

私たちは、日々心新たに、市民の負託に応え、市民と共に語り、市民と共に動き、市民のしあわせと地域の発展を目指して行動することを宣言する。

- 1 議員は、自らの使命と責任を自覚し、常に自己研さんして、市民のしあわせを実現するために行動していく。
- 2 議員は、市民の多彩な声を傾聴し、説明責任を尽くし、信頼関係を築いて市民の負託に応えていく。
- 3 議会は、行政の監視機関として、透明性の確保、自由闊達な議論及び政策立案機能の充実を図り、地域の発展を目指していく。

介護報酬は国の改定を意味した引き下げを行います。また、介護保険法等の改正に伴い指定地域密着型サービス事業者等の基準等を定めます。

### ●本会議での主な論点

賛成保険料の引き上げは多くの高齢者の介護を支える制度の運営を持続可能にするため、やむを得ない。負担能力に応じた保険料率の段階設定が図られている。

反対低所得者が高額所得者に比べ保険料の負担率が高いという逆進性は解消されていない。高齢者世帯の負担軽減のため予算措置を行う等、努力の余地がある。

### ●市議会の議決すべき事件を定める条例の制定 (議員提出第1号議案)

地方自治法第96条第2項の規定に基づき、本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本計画の策定、変更又は廃止に関する事、姉妹都市及び友好都市の提携又は解消、憲章及び都市宣言の制定又は改廃などについて議決の対象とします。

抛の明示を義務付け、行政指導の中止等の求めと処分等の求めを新設し、市民の権利保護の充実を図ります。

### ●総務委員会での主な質疑

問 申出人に対する経過や結果の報告について、どのように考えているか。

答 法律及び条例上、申出人に対する通知義務はありませんが、申出人の便宜等を図り、調査の結果や講じた措置の有無などを通知するように努めていきます。

### ●市立保育所の設置・管理に関する条例の改正 (第9号議案)

子ども・子育て支援新制度を踏まえ、保育の実施基準を満たさない児童の入所を見直します。また、保育料について子ども・子育て支援法に規定されたため、市の状況を踏まえた保育料を定めます。

### ●文教委員会での主な質疑

問 「保育に欠ける児童以外の児童を保育所に入所させることができる」の規定が削られたことにより入所できない児童が出ないか。

答 現行の入所基準では、

「保護者及び同居の親族等が保育できない場合」でしたが、新制度では「保護者が保育できない場合」のみとなり基準項目も増えるので、保育を受けることが適当である子どもは全て保育所に入所できると考えています。

### ●本会議での主な論点

賛成法及び制度に沿った改正であり保育料は現行から大きな変更なく適正である。反対1割の世帯で保育料が上がる見込みである。保育料を安くするべき。

### ●介護保険料の引き上げと介護保険法等の変更に伴う条例の改正 (第10号議案)

第6期介護保険事業計画の策定に伴い、平成27年度から29年度における保険料が見直されました。今回の改正により、保険料率の所得段階設定が10段階から11段階となります。この期間における介護保険料の基準額は年額5万8800円です。これは、第5期の5万3664円から9・6%の引き上げになります。



## 東三河広域連合議会

2月25日の市議会3月定例会本会議において、東三河広域連合議会議員選挙を行い、投票の結果、波多野努議員、大場康議員、鈴木貴晶議員が当選し、3月30日開催の東三河広域連合議会臨時会に出席しました。臨時会では議長に豊橋市の近田明久議員、副議長に豊川市の太田直人議員、監査委員に新城市の鈴木達雄議員を選任しました。また、平成27年度東三河広域連合一般会計予算など28議案を審議し、いずれも原案のとおり可決、同意、承認されました。



東三河広域連合議会議場の様子

## 5月臨時会の開会日・日程は

5月市議会臨時会は、5月14日(木)に開会される予定です。臨時会では、議案の審査のほか、正副議長選挙、新議員による各常任委員、議会運営委員の選任等が行

われます。詳しい日程は、5月7日(木)に開かれる予定の各派代表者会議で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。なお、市役所1階ロビーでもお知らせします。

議会だよりは目の不自由な方向けに点字版とテープ版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは、過去に発行されたものも含め市議会ホームページからご覧いただけます。

## 議会日誌

1月6日から4月3日

### 1月

27日 議会運営委員会理事会

### 2月

4日 議会運営委員会理事会

12日 議会運営委員会理事会

16日 3月定例会招集告示

議案説明会

当初予算説明会

19日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

25日～3月19日

3月定例会

### 3月

9日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

13日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

16日 議会運営委員会理事会

議会運営委員会

19日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会

### 4月

3日 議会だより編集委員会



- ▶ 市制60周年における最後の定例市議会は、2月16日に告示され、議案審査及び2会派の代表質問、9名の個人質問、そして18名の議員で構成される「平成27年度予算審査特別委員会」が行われました。
- ▶ 議員は独自の調査・研究をもとに、一般質問や議案審査を通して、各議案への疑義を質すことや新しい施策の提案や改善など活発な議論を展開しました。
- ▶ 今後とも、今定例会において制定された「蒲郡市議会憲章」のもと、議員として初心を忘れず「市民とともに」、「現場第一」の姿勢で日々活動し、市民の幸福と市政の発展のために挑戦していきます。

## 議会だよりをスマホへ配信します！

いつも議会だよりをご覧いただき、ありがとうございます。

蒲郡市議会の情報を広く届けるため、各世帯への配布に加え、スマートフォンへ配信するサービスを導入しました。



**対応端末** iOS 端末、Android 端末

**登録方法** ①スマートフォンアプリ「i 広報紙」をダウンロード。**QRコードを読み込むか、「i 広報紙」で検索**

②性別、生年月、居住地などを登録

**無料です！**

